

信濃の風土と歴史 ⑨

歴史と遊ぼう

みてみよう、やってみよう



長野県立歴史館

Nagano Prefectural
Museum of History

はじめに

今回の長野県立歴史館ブックレット「歴史と遊ぼう－みてみよう、やってみよう－」は、原始から近現代の時代別に構成されていますが、内容は三つに分かれています。

まず「みてみよう」では長野県立歴史館常設展示室の復原展示などの見どころをわかりやすく紹介しています。このブックレットを片手に常設展示を見ていただければ、今まで気がつかなかったものも出てくるかもしれません。

「やってみよう」は、歴史体験の方法を集めてみました。土器づくりや火起こしといったおおがかりな体験はあえて載せませんでした。家庭や学校で比較的簡単にできるものを選んで載せました。ブックレットを見ながら昔の人のつくったものに挑戦してみてください。

「テーマ学習」は「みてみよう」や「やってみよう」に関係することがらのなかからひとつのテーマを取り出して解説したものです。

「歴史と遊ぼう」という題名も、歴史を難しい暗記の勉強と考えずに、歴史館へ来て、あるいは皆さんの家や学校で、遊びながら楽しく歴史に親んでもらいたいと考えたからです。ワイワイガヤガヤやりながら歴史に親しんでください。そして昔の人のことをいろいろ考えてみてください。

歴史は遠いところにあるのではなく、皆さんの身のまわりにもたくさんあります。ところが皆さんが学校で学ぶ歴史は日本全体の歴史であり、世界中の歴史であって、意外に身近な町や村、そして長野県の歴史は学ぶ機会があまりありません。でも実は身近な歴史が日本全体の歴史や世界の歴史と深い関連を持っているものなのです。そして身近なところから日本や世界の歴史を考えてみてください。

いろいろなものをみてみたり、やってみることによって、皆さんのまわりにある身近な歴史にも興味を持っていただければうれしい限りです。

2003年3月

長野県立歴史館 館長
市川 健夫

歴史と遊ぼう みてみよう、やってみよう

はじめに	1	
目次	3	
🔍 みてみよう	縄文時代の家をたずねて	4
👉 やってみよう	土器の文様を分けてみよう	8
👉 やってみよう	縄文土器の文様にチャレンジ	10
👉 やってみよう	拓本をとってみよう	12
📖 テーマ学習	原始時代の絵画	14
🔍 みてみよう	鎌倉時代の善光寺門前をさぐってみよう	16
👉 やってみよう	夏休み日記絵巻をつくってみよう	20
👉 やってみよう	世界でひとつ！自分の花押をつくる	24
📖 テーマ学習	確かにわたしです	26
🔍 みてみよう	正保の信濃国絵図をみてみよう	28
👉 やってみよう	昔のようすを地図にあらわしてみよう	34
📖 テーマ学習	伊能忠敬の地図	38
🔍 みてみよう	大正時代の教室に座ってみよう	40
👉 やってみよう	簡単コピー こんにゃく版をやってみよう	44
👉 やってみよう	ガリ版に挑戦してみよう	46
👉 やってみよう	カメラのなかをのぞいてみよう	48
📖 テーマ学習	筆記用具のあゆみ	50
参考文献	52	
協力者のみなさん	53	
あとがき・利用案内	55	



縄文時代の家をたずねて

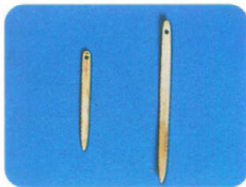


復原した竪穴住居（長野県立歴史館常設展示室）

縄文時代前期（約6000～5000年前）の原村阿久遺跡で見つかった竪穴住居跡等をもとに復原した。



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧

◆ここはどこ？

ここは長野県立歴史館常設展示室にある、縄文時代前期（約6000年前）八ヶ岳のふもとのムラです。当時の人びとは、地面を掘りくぼめて床をつくり、室内には炉を設けて、屋根をカヤなどの植物質の材料で葺いた竪穴住居で暮らしていました。

◆探してみよう！

それでは竪穴住居内にはいってみましょう。室内には日常使う道具や食べ物などがたくさんありますね。

左の写真は、室内にある道具のほかに竪穴住居のまわりにいる動物や木の実は、どこにあるのか見つけてみましょう！



いろいろな道具があるよ。

いらっしやい。

ふくげん たてあなじゆうきよない
復原した竪穴住居内のようす（長野県立歴史館常設展示室）
さまざまな食料や道具を見ることができる。

◆食生活と土器

約6000年前の縄文時代前期には、現在と同じような樹木が育ち、東日本はドングリや、やまぐりなどの実をつける木々の森に覆れていました。木の実やきのこ、やまのいもなどの植物質食料の採取を中心に、秋にはサケ漁、冬には鳥獣の狩猟などを組合せて暮していました。

右の写真は炉に置かれた土器で、きのこやイノシシの肉などの山の幸を煮ていました。

よく見ると、土器の表面には文様があります。どうやってつけたのでしょうか。（→8ページを見てみよう！）



ろ
炉に置かれた土器（長野県立歴史館常設展示室）

- 前頁のこたえ（名称）
- ①うるし塗りの櫛 ②ヘアピン ③柄についた打製石斧
 - ④又木 ⑤クッキー ⑥燻製されたイワナとヤマメ ⑦アケビ ⑧イタチ



隆起した線を付けた土器（国学院大学蔵）
須坂市石小屋洞窟遺跡 縄文時代草創期（約1万
2000年前）高さ25cm 複製



多数の蛇で飾られた釣手付の土器
（長野県立歴史館蔵）富士見町札沢遺跡
縄文時代中期（約4500年前）高さ17.4cm 長野県宝

連続して型を押した文様を持つ土器（長野県立歴史館蔵）
岡谷市大洞遺跡 縄文時代早期（8000年前ころ）高さ30cm

蛙と人との立体画（井戸尻考古館蔵）
富士見町藤内遺跡 縄文時代中期（約4500年前）高さ
51.8cm 複製

◆縄文時代の土製品を見てみよう

表面に縄目や渦をこころがした文様、カエルやヘビ、人の顔が表現された土器など、表現の豊かさ、バラエティーの多さに驚かされます。



カエルだ、カエルだ！ヘビもいる！！



赤ちゃん誕生をあらわした土器
（伊那市教育委員会蔵）伊那市月見松遺跡
縄文時代中期（約4500年前）高さ59.2cm
複製



仮面を付けた土偶（辰野美術館蔵）
辰野町新町遺跡 縄文時代後期（約
3500年前）高さ20cm 長野県宝 複製



顔面付き釣手土器（伊那市教育委員会蔵）
伊那市御殿場遺跡 縄文時代中期（約4500年
前）高さ39.5cm 重要文化財 複製



煮炊き用の甕 (長野県立歴史館蔵)
 長野市松原遺跡 弥生時代後期 (約1800年前)
 右：高さ20.9cm



顔が付いた土器 (長野県立歴史館蔵)
 長野市松原遺跡 弥生時代中期 (約2000年前) 高さ19.2cm



盛り付け用の赤く塗られた高杯 (長野県立歴史館蔵) 長野市松原遺跡 弥生時代後期 (約1800年前) 高さ24.4cm



人体の形をうつした土偶形容器 (東京国立博物館蔵)
 丸子町腰越遺跡 弥生時代中期 (約2000年前)
 高さ36.6cm 複製

◆弥生時代の土器や金属器を見てみよう

縄目の文様や立体的な表現は少なくなって、土器の表面に線を引いたものや、縄文時代にはない銅鐸には直線や円弧が描かれています。

(岡村秀雄)



銅鐸 (塩尻市立平出博物館蔵)
 塩尻市柴宮遺跡 弥生時代後期 (約1800年前) 高さ64.2cm
 長野県宝 複製



土器の文様を分けてみよう



①縄文・弥生時代の土器の破片
遺跡の中の土器はほとんどが破片。復原されたものが②～⑨。



②縄文前期中ころの土器（中：高さ45cm）
半割竹管で描いた口のまわりの変形文と胴の羽状縄文が特徴。



④縄文前期終わりの土器（中：高さ48cm）
③に続いて半割竹管を押し当てて引いたり、ところどころ彫刻する。

土器の文様や形は、時代とともに移り変わっていきます。長野市松代町にある松原遺跡は、地下5mの縄文時代前期中頃（約5500年前）から室町時代まで、いろいろな時代の集落跡が重なった、歴史博物館のような遺跡です。松原遺跡から見つかった土器を、文様の違いによって時代順に分けてみましょう。

縄文時代前・中期の土器の文様は、羽状に付けた縄文と、半割した竹の管のような道具で描いたさまざまな文様が流行しました。



③縄文前期後半の土器（左：高さ38cm）
山形の口が大きく開く。貼り付けた細い粘土紐（は）の上から半割竹管を押ししている。



⑤縄文中期初めの土器（中：高さ39cm）
粘土を貼り付けて盛り上げた文様が現れ、隙間なく半割竹管文で埋め尽くす。

このページは弥生・古墳・平安時代（約2000年～1000年前）の土器です。弥生時代には山形の口の形や立体的な飾り、文様がなくなり、煮炊きや貯蔵、

盛りつけなど用途によって形をつくり分けます。古墳時代に土器から文様が消え、実用的な形のうつわとなります。

（綿田弘実）



⑥弥生中期の甕形土器（左から2番目：高さ31.5cm）
口の広い煮炊き用の土器。櫛歯を斜めに引いた羽状の地味な文様が特徴。



⑦弥生中期の壺形土器（中：高さ39.5cm）
口が狭い貯え用の土器。甕より装飾的で、ヘラで文様を描き縄文も付ける。



⑧弥生後期の甕形土器（左から2番目：高さ30cm）
櫛歯を波状に引いた胴の文様、水平に押し当てて引いたくびの文様が特徴。



⑨弥生後期の壺・高杯形土器（左から2番目：高さ36.5cm）
焼くと赤くなる鉄分を含んだ粘土を塗る。壺のくびには櫛歯文を描き、赤くしない。



⑩古墳前期の土器（中：高さ30.5cm）
大小の壺と高杯、鉢。地肌を仕上げた道具のあとだけで、文様は全く見られない。



⑪平安時代の土器（中奥：高さ28cm）
かまどにかける丸底の甕や、ろくろの回転でつくった杯など、簡素なうつわ。

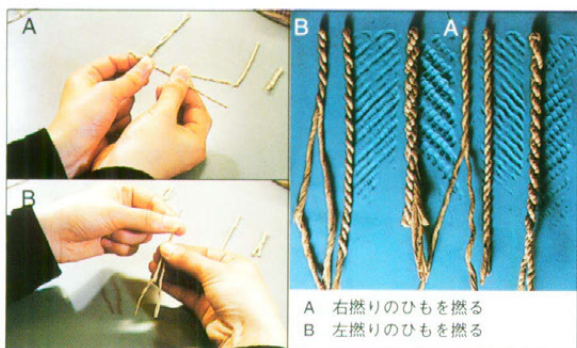


縄文土器の文様にチャレンジ



①用意するもの

紙ひも、細い竹や木の棒、ギザギザのある二枚貝、カッターナイフ、油粘土。



A 右捻りのひもを擦る
B 左捻りのひもを擦る

②ひもを擦る

紙ひもをほぐして半分に裂き軽く擦る。折り曲げた2本の紙ひもを強く擦り合わせる。



A・B 前期、佐久市下茂内遺跡

④縄文2

右と左の異なる捻りのひもか、転がす方向を変えると羽状や菱形になる。組みひももある。

歴史館にある縄文土器の文様を、現代の道具で再現してみましょ。植物の繊維などを撚ったひもを転がしてつけた、さまざまな縄目模様が縄文です。ここではほぐした紙ひもを材料にします。指に力を入れ、心を込めて道具をつくれれば、何千年も前に縄文人が編み出した文様とそっくりな文様が、粘土の上に現れるはず。です。

(土器はすべて長野県立歴史館蔵)



A・B 中期、更埴市屋代遺跡群

③縄文1

右捻りと左捻りで縄文の傾きが逆になる。2回捻り合わせると粒つぶ(節)が現れる。



A 早期、岡谷市膳棚B遺跡
B 前期、佐久市下茂内遺跡

⑤撚糸文など

長いひもを棒やひも自体に巻き付けて転がしたり、強く押し当てた文様。

何百種もの縄目模様以外に、先端の形が異なるヘラや細い竹を使った文様があります。意外に簡単な道具でも、細部の加工や土器に当てる角度のちがいで、文様は変化します。⑨・⑩は粘土のひもをはりつけたり、土器の

肌を削りこんだ立体的な文様と組み合わせています。短い棒に彫刻した押型文は早期に広く流行し、二枚貝は海のない長野県でも用いられました。

(綿田弘実)



A・B 早期、信濃町東裏遺跡



A・B 早期、信濃町七ツ栗遺跡

⑥押型文 1

格子目文と山形文。回転方向を変えたり、間隔をあけることもある。

⑦押型文 2

楕円文と鋸歯文、格子目文。異なる文様を組み合わせることもある。



A 早期、信濃町貴ノ木遺跡
B 早期、塩尻市栗木沢遺跡



A 中期、塩尻市竜神平遺跡
B 中期、塩尻市吉田向井遺跡

⑧貝殻文

ジグザグの二枚貝の縁を押し当てたり、引きずってすじを付ける。巻貝を使うものもある。

⑨押引文

先端が四角形・三角形などのヘラを連続して押し当てながら引っていく。



A 前期、佐久市下茂内遺跡
B 前期、信濃町日向林A遺跡



A 前期、長野市松原遺跡
B 中期、長野市松原遺跡

⑩竹管文 1

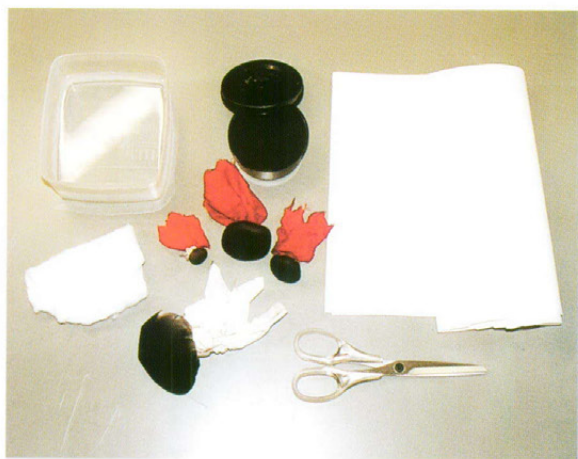
半割竹管の外側を押し当てた爪形文や、切り口を押ししたコンパス文、円文など。

⑪竹管文 2

半割竹管の内側で強く引いたり、貼り付けた粘土紐の上に連続して押し当てた文様。



拓本をとってみよう



①用意するもの

和紙（画仙紙）、拓本用（湿拓）の墨、タンポ、脱脂綿、水、はさみなど。



②土器の内側に届く大きさに和紙を切り、脱脂綿に水を含ませて土器に貼り付け、よく空気を追い出す。



③半乾きになったらタンポに墨を付けて紙をたたく。少しずつ濃くし、絶対に土器に墨を付けない。



④濃淡のむらがなく文様が浮き出たら紙をはがし、しわを伸ばして乾燥すれば、拓本はできあがり。



⑤図面に記録する場合は形取り器や製図用具で断面を実測し、観察したことなどを書き込む。

拓本は土器の破片ばかりでなく、いろいろな資料の記録に応用できます。このページでは各種の考古遺物の実例を紹介します。大きな資料や湾曲の強

いものはむずかしいので、和紙が破れる場合は拓本はやめましょう。

(綿田弘実)



⑥完形縄文土器

筒形で湾曲の少ない深鉢形土器の文様を展開して見ることができる。



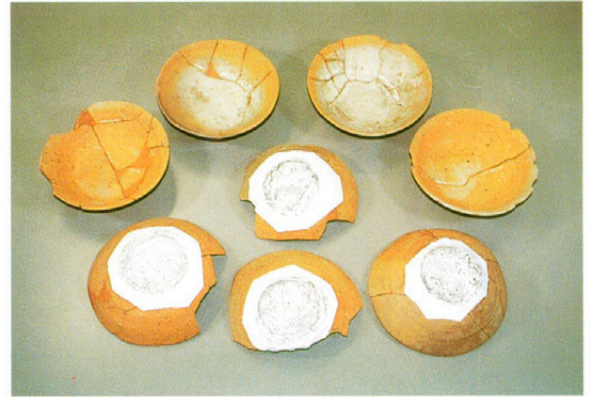
⑦弥生土器

平面的な文様もきれいに浮かび上がる。凹凸のない部分は真っ黒になる。



⑧奈良時代の須恵器

刻みを付けた板でたたいたあとや櫛描文。高井郡の「井」を刻んだ土器もある。



⑨平安時代の須恵器杯

回転するろくろから糸で切り離れたあとが残る底。ろくろの回転方向もわかる。



⑩奈良時代の瓦

古代の瓦は内側に麻布をあて、外側はひもを巻き付けた道具で整えてつくった。



⑪室町時代の石塔の加工痕

地面にすえる部分には鉄のノミで削ったあとが残っている。その他の部分はみがいて仕上げている。

原始時代の絵画



魚（鮭の彫刻）（飯山市教育委員会蔵）
飯山市山ノ神遺跡 魚形線刻画土器 縄文時代晩期（約2800年前）複製



鹿が刻まれている（南茅部町教育委員会蔵）
北海道茅部郡南茅部町臼尻B遺跡 縄文時代中期（約4500年前）

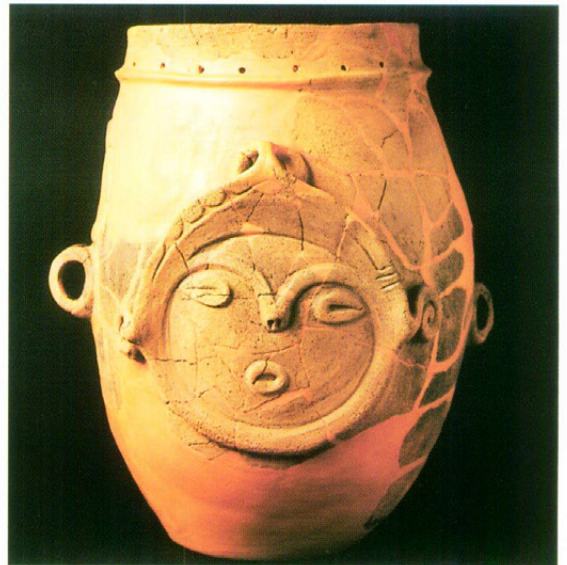


弓矢と獲物（青森県埋蔵文化財調査センター蔵）
青森県葦窪遺跡 狩猟文土器 縄文時代後期（約3800年前）高さ26.2cm



赤ちゃん誕生（井戸尻考古館蔵）
富士見町唐渡宮遺跡 出産絵土器 縄文時代中期（約4500年前）高さ64.5cm 複製

動物や弓矢などの道具を立体的または表面を刻んで表現した土器や埴輪などが出土しています。古墳の壁画なども良く知られています。



大きくて立体的な人の顔（大桑村教育委員会蔵）
大桑村大野遺跡 人面付有孔鋳付土器 縄文時代中期（約4500年前）高さ43cm





人・弓矢・鹿（神戸市立博物館蔵）
兵庫県神戸市桜ヶ丘遺跡桜ヶ丘5号銅鐸 絵文
弥生時代中期（約2000年前）国宝

上の絵は弥生時代の銅鐸の表面に描かれた狩の風景です。前ページの縄文時代の土器には大きく弓の絵が描かれています。

これらの絵は、文字資料のほとんどない原始時代の生活を教えてくれる貴重な資料です。

（岡村秀雄）



鳥の装束を着けた女性（奈良県立橿原考古学研究所附属博物館蔵）
奈良県天理市清水風遺跡 土器絵文「鳥装の巫女」 弥生時代中期
（約2000年前） 両手を上に掲げ、袂の広い袖の服を着た巫女が描かれている。胸には鹿の絵、左側に人物が二人描かれている。



弓矢の絵だ。
となりには鹿もいるぞ！



動物が刻まれた埴輪（飯田市教育委員会蔵）
飯田市溝口の塚古墳 古墳時代後期（約1500年前）



鹿が刻まれた埴輪（飯田市教育委員会蔵）
飯田市新井原2号墳 古墳時代後期（約1500年前）



仏と獣が描かれた鏡（開善寺蔵）
飯田市御猿堂古墳 画文帯四仏四獣鏡 古墳時代中期
（約1600年前）重要文化財 複製



鎌倉時代の善光寺門前をさぐってみよう



鎌倉時代の善光寺門前（長野県立歴史館常設展示室）

この時代には開発の進行とともに災害や飢饉・戦争などで、死と日常とが隣り合っていました。人びとは不安な世の中から救われることを願い、善光寺にも全国から多くの参詣者が訪れました。善光寺は仏を介して来世の極楽に通じる聖域、門前は現世の俗社会との「境界」の場所でもありました。

中世の人びとの不安や境界としての門前を象徴するため、復原では川から地獄絵が浮かび上がる秋の夕暮れを再現しています。



寺庵横の木

柿の実がなっています。さまざまな「境界」をあらわすこの門前では、季節も生命の活動期である夏と衰退期である冬の境としての秋を演出しています。また時間も、人びとの活動の世界である昼間と、鬼神や悪霊の世界である夜間との境界＝大禍時＝夕方を表現しています。

◆君も名探偵!! 全問正解できるかな?

ここは歴史館常設展示室にある今から700年くらい前の善光寺門前です。この復原には当時の人びとの考え方や暮らしがわかるようにさまざまなヒントが隠されています。「これ何」「どうして」と感じたら、みんなで謎を解き明かしてみましよう。

(1) 季節はいつ?

ヒント：門前の木に実がなってるよ。

- ①春 ②夏 ③秋 ④冬

(2) いま何時？

ヒント：方角は、写真のように立つと正面が北、背面が南、右が東、左が西になる。日光はどこにあたってゐるかな。

- ①明け方（午前6時頃）
- ②朝（午前7時頃）
- ③昼（午後12時頃）
- ④夕方（午後5時頃）
- ⑤真夜中（午前0時頃）

(3) 門前って、どんなところ？

ヒント：正面の赤い門から向こう側は善光寺、木戸から中が門前町だよ。

- ①川と川にはさまれていて、墓地がある、普段は誰も来ないところ。
- ②お坊さんが勉強している、普通の人が入れないところ。
- ③お参りにきた人たちが、食べ物や着るものを買ったり、休むところ。
- ④人びとが、田んぼや畑を耕し、農業をして暮らすところ。

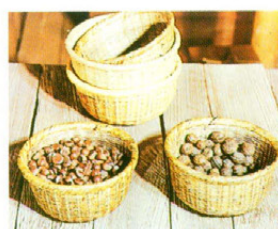
- (4) たべものを探して書き出してみよう。
- (5) はきものを二つ探して絵に描いてみよう。
- (6) 着るものにつかう材料を探してみよう。これも二つ、がんばって。
- (7) 入れ物（うつわ・袋）を探そう。
- (8) 右の昔の絵にある道具を家のなかから探してみよう。



たなみせ
棚店（品物を毎日ならべて売る商店）



まぢやさいけ
町屋在家（市の立つ日にだけ品物を売る所）



さまざまな品物
クリ・クルミ



まげもの
曲物・まな板・庖丁



七十一番職人歌合（東京国立博物館蔵）



A. 仏師屋

仏像をつくる職人の家。善光寺門前には鎌倉時代の末、妙海みょうかいという仏師が住んでいた。



B. 寺庵

門前に住む僧侶の住まい。旅の僧たちの宿泊施設でもあった。



一遍聖絵（清浄光寺・歡喜光寺蔵）
旅人のしる
縁下での寝泊まり

(9) 道具からAの家には誰が住んでいたか推理してみよう。

(10) 道具からBの家には誰が住んでいたか推理してみよう。

(11) 絵のような人びとの泊まった場所が再現されているのはどこかな。



道具のいろいろ



お経を写している机の様子



縁下の鍋・釜
なべ かま

◆昔の明るさを感じてみよう

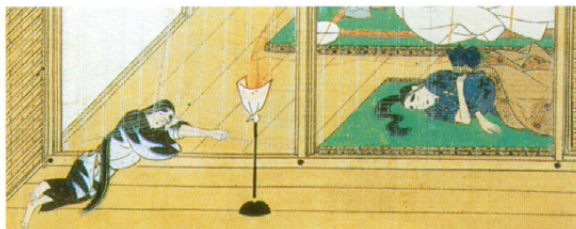
門前には明かりの道具が、ふたつあります。探し出して明るさを確かめてみよう。



ヒッシヤ オスビトウダイ
仏師屋の結灯台



ジアン タカトウダイ
寺庵の高灯台



春日権現験記絵 (宮内庁三の丸尚蔵館蔵)

◆足半をはいてみよう

足半は子どものものでも馬のものでもなく大人が働くときにはきました。材料も草鞋の半分ですみ、サンダルのようにすぐはけるので便利でした。

(伊藤羊子)



足半をはいた子供たち



常設展示室での明かり体験



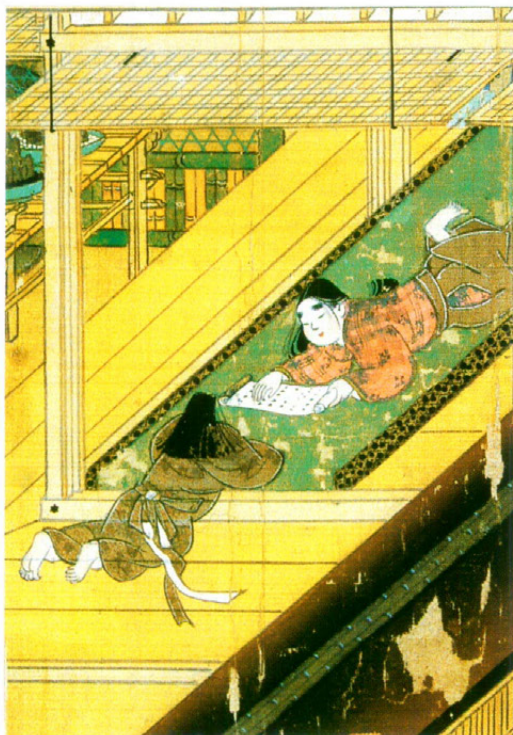
足半をはいて、門前を探検

こたえ

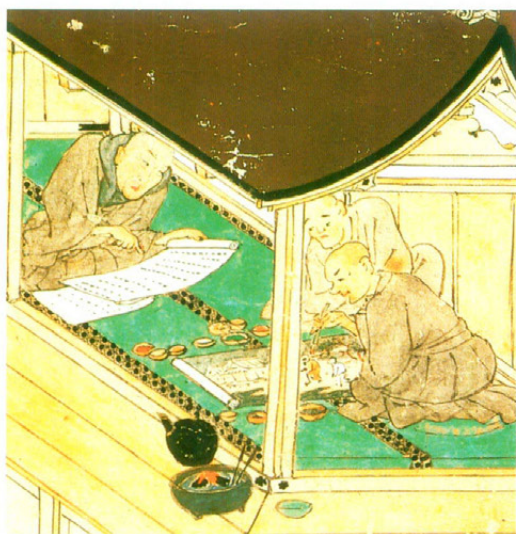
(1)③ (2)④ (3)③ (4)干し柿・クリ・クルミ・鮭など
(5)草蛙・足半 (6)麻布・苧 (7)ザル・曲物など (8)まな板・まな箸・庖丁 (9)仏師 (10)僧侶 (11)寺庵縁下



夏休み日記絵巻をつくってみよう



かすがごんげんげんきえ
春日権現験記絵 (宮内庁三の丸尚蔵館蔵)
寝そべて絵巻物を見る子ども



ぼきえことば
慕帰絵詞 (西本願寺蔵)
絵巻物をつくる僧

◆絵巻物はマンガのご先祖様？

絵巻物は文章を書いた詞書と絵を交互にはり合わせた巻物です。平安時代から室町時代にかけてたくさんつくられました。

絵の役割が大きく、場面が次つぎと移り変わるため、マンガやアニメーションと似たところが多く、日本でマンガが好まれるのは昔からの絵巻物の影響があるのではないかとされています。

◆絵日記を絵巻物にしてみよう

文章と絵が同じようにあつかわれるという点では紙芝居の裏表や絵日記ともよく似ています。そこで夏休みの絵日記をもとに絵巻物をつくってみましょう。

1 材料を用意しよう

右の表のような材料を用意します。絵日記をカラーコピーしたものを用いて絵巻物をつくってみましょう。文章(詞書)は必ずたて書きにしてください。

もちろんコピーではなく絵巻物用に絵と文章をかいてもいいでしょう。その場合は和紙を使うとずっときれいにできます。でも失敗すると全部かきなおすことになるので、要注意！

2 本紙をつくる

日記の文章の部分が詞書になります。詞書と絵をはりあわせた絵巻物の本体

部分^{ほんし}を本紙といいます。

コピーした日記の上下を切り離して
詞書と絵にします。この時、詞書と絵
のたての長さが同じになるように調整
してください。

絵巻物は必ず詞書から始まります。
詞書の紙が絵の紙の上になるように絵
の部分をはり合わせ、そこへ次の詞書
が下になるようにはっていきます。こ
うして詞書と絵を交互に必ず右の紙が
左の紙の上になるようにはってくださ
い。

3 軸のついた奥付をつくる

丸棒^{まるぼう}を軸^{じく}に使いますが、紙のたての
長さより2cmくらい長くします。紙を
たて半分の山おりにして、折った左が
わにのりをぬり、軸を巻きつけます。
しわにならないようにまっすぐ巻きつ
けます。軸に巻きついていない部分の
紙を奥付^{おくづけ}といいます。

4 表紙をつくる

表紙^{ちよがみ}の千代紙とその裏^{みかえ}になる見返し
の紙をはり合わせます。

乾いたら今度は見返しを表にして右
端1cmくらいの部分を谷おりにしてボ
ンドをぬり、そこへ竹ひごをおいてよ
くこすってはり合わせます。

ボンドの乾かないうちに表紙を表に
して千代紙の上から竹ひごの部分をし
ごいて表紙左端をうきあがらせます。
この竹ひごのある部分^{はっそう}を八双^{はっそう}といいま
す。

この後、平紐^{ひらひも}をつけます。見返しを
表にして千代紙の折り返し部分のまん

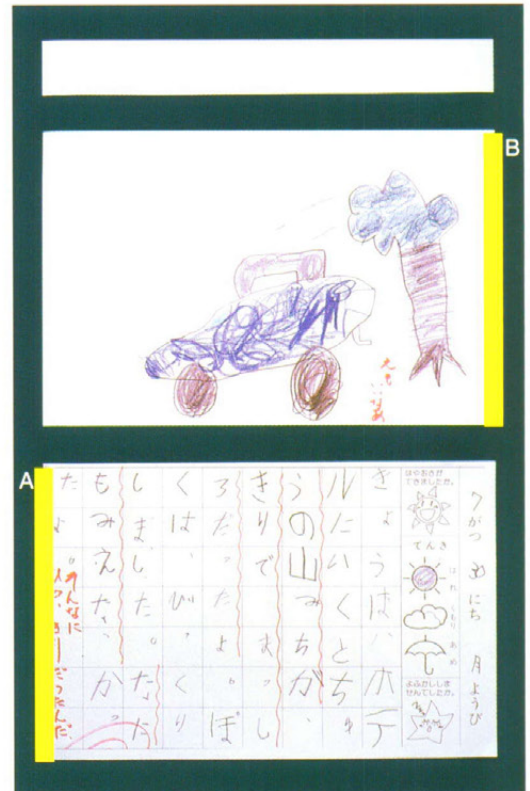
用意する材料

絵日記のカラーコピー（4～5日分）

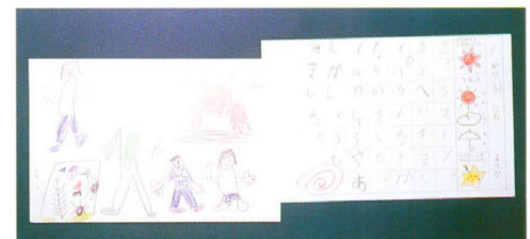
軸（ラミン丸棒。直径1.2cm～1.5cm以上。太い
ほうがつくりやすい。）、竹ひご、平紐、千代
紙、上質紙、カッター、のり、木工用ボンド、
筆ペン

段取り

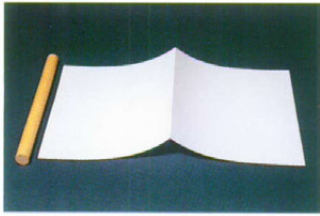
- ①本紙、軸、表紙をつくって乾かす。
- ②表紙に八双と緒をつける。
- ③それぞれをつなげて仕上げる。



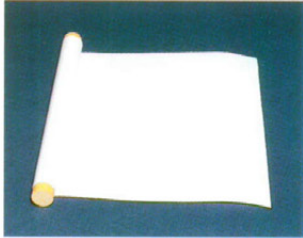
カラーコピーした絵日記を絵と文章部分のたての長さが同じ
になるように切り離す。Aの部分をBの部分の上になるよう
にのりではる。



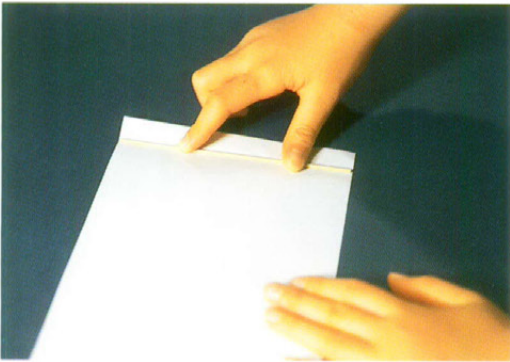
右の紙が左の紙の上になるようにはりつけていく。



山折りにした左部分を丸棒に巻きつける。



軸の右側を奥付という。



見返しを表にして竹ひごをおいてボンドではりつけ八双をつくる。



表紙を上にして竹ひごの右側をしごいて竹ひごは入った部分をうきあがらせる。



見返しの端に平紐をボンドでつけたあと平紐の反対側を表紙側から通す。

中よりすこし上にボンドで平紐の端^{ひらひも}をつけ、平紐の反対側の先端を表紙にまわし、見返しの平紐と表紙の八双の右端を貫くように切れ目を入れます。平紐の固定してない先をこの切れ目に入れて表紙裏に出し引っぱり八双^おにからめます。この平紐のことを緒^おといいます。

5 仕上げ

本紙に表紙と奥付をはり合わせます。この時も右の紙が左の紙の上になるようにします。

ですから表紙が一番上で、奥付が一番下になります。表紙の幅は軸と本紙を巻いたものを一周半巻けるくらいがよいでしょう。

次に表紙の左上^{だいせん}に題箋^{だいせん}をはります。題箋にはこの絵巻物の題名を筆ペンで書きます。奥付に作った日付や名前を入れてもいいでしょう。

◆絵巻物の見方

緒の端をゆっくり引いて緒を解^とき、緒をまとめて軽くしぼります。

見返しの上に緒を置いて表紙に巻き込みます。

その後は紙のつなぎ目まで広げて見ます。見おわったら右手で巻き、奥のところを右にずらし、次の紙の継ぎ目まで広げて見ます。ですから詞書を読んでから巻いて絵を見ることになります。

次にどんな文章や絵が出てくるか、わくわくしませんか。このわくわくする感じが絵巻物の人気を高めた理由で

しょう。

◆絵巻物の巻きかた

軸を両手の親指、人差し指、中指でおさえ、ゆっくり巻いていきます。この時右手と左手で同じように巻いていかないときれいに巻けません。

巻き終わったら緒を2~3周重ならないようにまわし、さらに緒の上に人差し指を置いて緒を巻きます。

人差し指の緒を二つに折り、人差し指をぬいたあとに二つに折った緒を入れ、巻きつくまで引っばります。

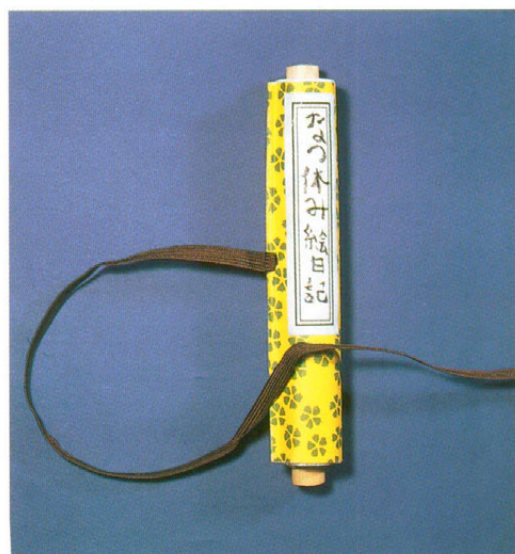
◆絵巻物の題材

慣れたらカラーコピーではなく和紙を使って詞書と絵をはりあわせて絵巻物をつくってみましょう。コピー用紙よりずっとうまくできるはずです。

夏休みの日記以外にも学校年中行事絵巻、家族旅行絵巻、おじいちゃんおばあちゃんの昔の生活絵巻など絵巻物の題材になりそうなものはたくさんありますね。

昔の人もいろいろな題材で絵巻物をつくりました。最初の写真『春日権現かすがごんげん験記絵げんきえ』は奈良の春日大社の御利益を説いた物語ですし、『慕帰絵詞ぼきえことば』は本願寺かくにょの覚如というお坊さんの伝記です。

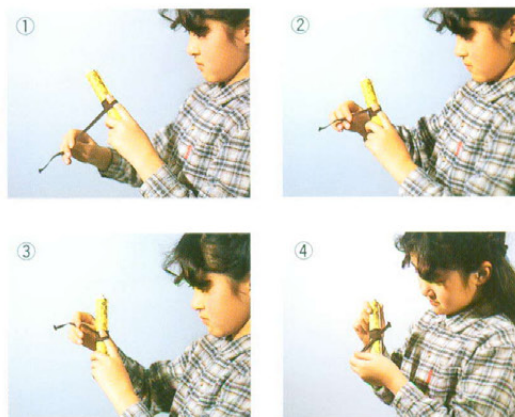
(祢津宗伸)



完成!



全部広げると大変なので少しずつ見る。



絵巻物の緒の結び方。



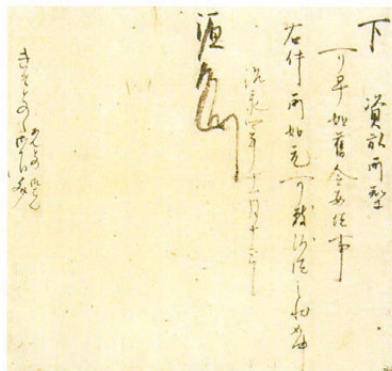
世界でひとつ！自分の花押をつくる



名前の漢字一字を使った一字の花押（『市河文書』本間美術館蔵）
鎌倉幕府の執権北条義時のもの。「義」の一字をくずし、デザイン化した。



名前の漢字のヘンやツクリを組み合わせた二合の花押（『島津家文書』東京大学史料編纂所蔵）
鎌倉幕府の創設者、源頼朝のもの。頼の「束」と朝の「月」を組み合わせた。



花押が記された文書（『市河文書』本間美術館蔵）
（伝木曾義仲下文）
1180年（治承4）11月13日、北信濃の武士の藤原助弘（資弘）の領地を保証した書きつけ。日付のあとの「源（花押）」の部分で義仲と伝えられる人物のサイン

◆花押ってなあに？

市役所や町村役場で発行する各種の書類。書類の証明をしている人は市町村長さんです。

でも、市町村長さんは直接書類を書きません。仕事の担当者が書類をつくり、市町村長さんの名前も書きます。市町村長さんが発行した書類だということは、名前の最後に押された判子でわかります。

このように、他人が作った書類でも、文の最後についた判子の持ち主が責任者になります。だから判子はとっても大事。でも最近はヨーロッパやアメリカのように、判子のかわりにサインが使われることもあります。

日本でも判子以外のものが使われた時代がありました。中世と呼ばれている時代に使われた「花押」です。

花押は判子とサインの中間のもの。手で書くけれど、一種のデザインになっています。手で書いた判子という意味で「書き判」ともいいます。



ローマ字の花押（『内閣百年の歩み』）
1948年に首相となった芦田均のもの。姓のAと名前のHのイニシャルを組み合わせた。



カタカナの花押（『内閣百年の歩み』）
1976年に首相となった福田赳夫のもの。カタカナの「フクタ」に底線をくわえた。



上杉謙信の木版花押
（上杉邦憲蔵）
完全にデザイン化した花押になってしまっている。



武田信玄の花押
（長野県立歴史館蔵文書）

◆花押の流行

花押はサインの一種ですから、自分の名前、それも漢字のくずし字がはじまりです。平安時代の終わりから鎌倉時代になると、名前の漢字一字だけを使ったくずし字をさらにわかりにくくしたもの、ヘンヤツクリを組み合わせたデザイン化したものなどがあらわれました。室町時代になると、名前を無視して、親子・一族は似たデザインの花押にする例が多くなるなど、時代の流行がありました。

現代でも、内閣の閣議では大臣のサインとして花押が使われています。

◆ちょっときどって花押のサイン

判子の時代もそろそろ終わり。国際化の時代の主流はサイン。ちょっと気取って花押をつくり、サインとして使ってみませんか。それは「世界でひとつだけ」です。

今の小中学生に多い名前。男の子は、しょうた たくや つばさ だいすけ翔太・拓也・翼・大輔くんなど。女の子は、まい あすか はるか愛・舞・明日香・遥さんなど。

ひらがな・カタカナの組み合わせや、ひかくてきかんたんイニシャルからつくるのは比較的簡単でしょう。自由な発想でデザインしてみましよう。

漢字からつくるのは、くずし字にするのがちょっとむずか難しい。大きな漢和辞典の巻末にくずし字がのっています。参考にして何度も繰り返し練習してみてください。くずし字に慣れたら、あとのデザインはあなたのアイデアだけです。



「愛」のくずし字

花押

「愛」さんで作る一字の花押



「翔」と「太」のくずし字

「羽」と「太」で作る花押

「翔太」くんで作る二合の花押



「拓也」くんで作るカタカナの花押

「翼」くんで作るひらがなの花押



「遥」を苗字、「舞」を名前として、ローマ字で作る花押

「大輔」くんを使い自動車と「甫」の字を組み合わせた創作花押

確かにわたしです



教室の風景

◆花押から判子へ

私たち個人ひとりひとりを区別する方法にはどんなものがあるでしょう。顔や声の特徴などであなたを見わけることもできます。先生は毎朝みなさんの元気な顔や声であなただを識別しています。

人間は必ずどこか違ってきます。筆跡^{ひっせき}もそうです。筆跡という特徴をもちいる花押は世界に一つだけのサインです。公の書類だけでなく物の売買や貸し借りの際^{ばいばい}たしかに自分が約束したことを示す証拠^{しょうこ}として花押は用いられました。

1000年ぐらい前の平安時代、花押はおもに貴族がもちいました。紙や木札に自分で花押がかけないものは自分の指の形をなぞって書いたり、指の関節の位置を記して証明することもありました。

いまから800年ほど前、武士が実権を持つようになる鎌倉時代になると、花押の習慣は武士にまで広がっていきます。百姓のなかには自分で花押を持つものもあらわれたり、見よう見まねで簡単なサインをするようになります。上田市の生島足嶋神社には女性がかいた花押が残っています。神や仏のまえで嘘をつく^{うそ}と罰があたると考えられた中世では、神仏の前で読む証文に花押のほか朱や墨、ときには血を自分の掌や指先に塗りつけて押し、自分は嘘をついていないことを誓うときもあります。

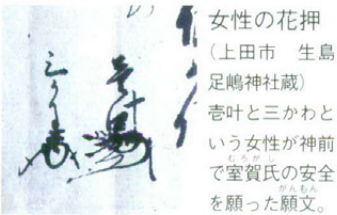


花押と血判
(上田市 生島足嶋神社蔵)

五月六日 (花押)



木間に記された花押
(豊野町教育委員会蔵)



女性の花押
(上田市 生島足嶋神社蔵)
壺叶と三かわという女性が神前で室賀氏の安全を願った願文。



手印のある譲状 (東京都 大倉集古館蔵)
大切な財産を売ったり譲り渡す時は双方で権利の確認を入念にした。これは譲った女性がその証拠に自分の手印をおしたもの。

江戸時代になると、幕府や朝廷などの公の場では花押は残りますが、日常生活のなかでは花押が使われる頻度が減ります。かわって判子^{はんこ}が用いられるようになります。村のなかでも、花押は禁止され、庄屋^{しょうや}に届けだされた判子を用いるようになります。いまの実印の登場です。

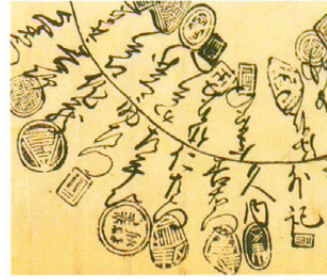
◆現代に生きる花押

現在、花押がまったくなくなってしまうわけではありません。内閣総理大臣をはじめとする内閣の閣僚^{かくりょう}はいまでも国の政策を話しあったりする閣議^{かくぎ}では自分の花押を用いています。1885年（明治18）伊藤博文内閣で決定事項の承認サインに花押が用いられたことが慣習^{かんしゅう}となっているのです。

右上段の写真は1927年（昭和3）の田中義一内閣の閣議のときの大^た臣のサインです。須坂町（現須坂市）出身原嘉道司法大臣、諏訪郡御射山神戸村（現富士見町）出身小川平吉鉄道大臣の花押が見えます。名前を書かなくても花押を記すだけで、その書類を誰が目をとおしたのかがわかります。

クレジットカードは現代の生活のなかで便利なものです。他人が不正に利用しないよう持ち主が自筆でサインしないと使えません。筆跡を読みとる機械も利用され本人確認が正確にできます。芸能人やスポーツ選手が書くサインも花押の習慣のなごりなのです。

（村石正行）

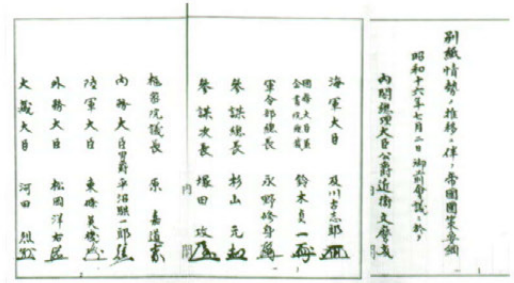
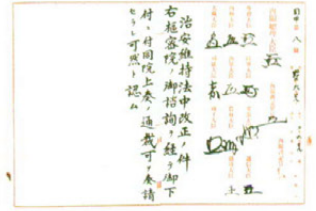


からかされんばんじょう
唐傘連判状
（個人蔵 複製 長野県立歴史館蔵）江戸時代前記の農民の印鑑がみえる。

内閣総理大臣
田中義一

田中内閣総辞職後
総理大臣に就任した
浜口雄幸の花押。

司法大臣
原嘉道
鉄道大臣
小川平吉



戦前の閣僚などの花押（上段 東京都 国立公文書館蔵。下段 東京都 防衛研究所図書館蔵）
写真上段右は1927年治安維持法を改める時の閣僚の書類。原司法大臣は「嘉」、小川鉄道大臣は「平」の字を花押に用いている。下は1941年昭和天皇を前にしておこなわれた御前会議での総理大臣等の署名・花押。原嘉道は当時枢密院議長であった。



美川さんのサイン（東京都 エービープロモーション提供）
テレビなどで活躍中の美川憲一さんは諏訪市出身。

みてみよう

正保の信濃国絵図をみてみよう

正保の国絵図は、江戸幕府の命令によって、国ごとの郷村帳や城絵図とともに作られました。信濃国では、松代・飯山・上田・松本・飯田の五つの藩が相談して、各郡を分担しながら絵図や郷村帳の作成に取り組みました。

それからおよそ10年後、松代藩はこれらを信濃国全体の一枚の絵図としてまとめあげ、1647年（正保4）に幕府へ提出しました。



姫川

山姥嶽

蛭子峠

千曲川

飯山城

水内郡

井隠山

飯縄山

長沼城

煤鼻(碓氷)川

埴川

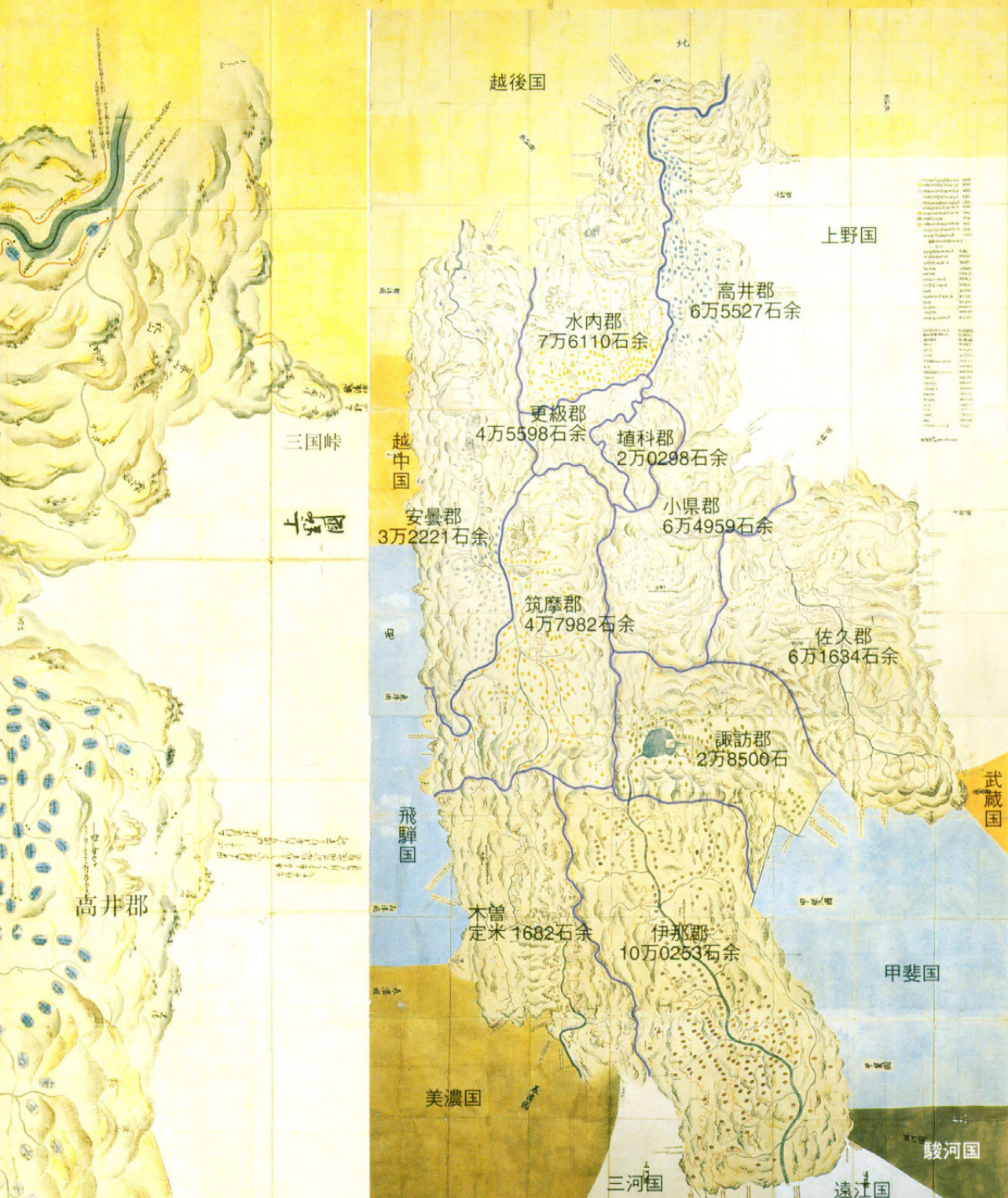
松城(松代)

更級郡

埴科郡

碓氷山

安曇郡



1647年（正保4）信濃国絵図の全体（上田市立博物館所蔵）



正保四年三月二十日

更級郡

埴科郡

姨捨山

高瀬川

安曇郡

上田城

保福寺峠

小県郡

松本城

王ヶ鼻

梓川

薄川

木曾川

田川

筑摩郡

桔梗原

高島

奈良井川

鳥居峠





あの色のこい
ところは諏訪
湖だね

新潟県

浅間山

小浅間

小諸城

佐久郡

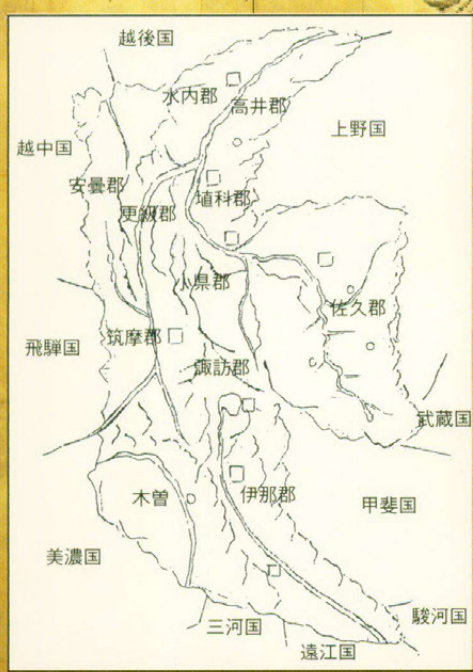
蓼科山

八ヶ嶽

諏訪郡

千曲川

金峰山



作者が佐久の人だから佐久郡が大きいんだね

1763年(元文1)ごろえがかれた信濃国のかたち (吉沢好謙「四隣譚藪」所収)



1869年（明治2）の信濃国絵図（長野県立歴史館所蔵）

写真の信濃国絵図は、今も上田市立博物館に所蔵されている旧仙石家文書のひとつです。この絵図には、正保期以後の変化などを書き込んだり紙がみられます。これは、元禄期におこなわれた国絵図や郷村帳の改訂にあたり、幕府から借りた正保の国絵図を忠実にえがき写したためと考えられています。たいへん大きな絵図で、横は464cm、縦は854cmもあります。なお、地名などの文字については、現代風の表記に改めました。

信濃国

（山崎哲人）



昔のようすを地図にあらわしてみよう



皆さんは、小学校3年の社会科の学習で、学校の周り^{まわ}などの地図を作りましたね。

6年の社会科で歴史の学習をした仁^{ひとし}さんと杏^{あんず}さんは、今度は、学校の周りの昔の地図づくりに挑戦してみました。

◆二人の考えた作戦

- ①役場に行って、学校の周りが、くわしく描かれている地図を手に入れる。
- ②地図を手にも、学校の周りが見渡せる山に登ってしてみる。
- ③地図をつくるときの基準になりそうな物を見つける。石で作られた物やお宮やお寺は昔からある可能性が大きいので昔の地図を作るときのポイントにできる。
- ④調査して江戸時代にはなかったものを地図のうえで、消していく。
- ⑤地図を片手に石で作られたものやお宮やお寺などを訪ねる。石に彫ってある字も記録してくる。
- ⑥地域のことをよく知っている人やお寺のお坊さんなどに昔のようすを聞いてみる。
- ⑦昔の地図を探してみる。

※④は、⑤・⑥・⑦のたびに繰り返す。



ひとえ すすきみづ
一重山からの須々岐水神社の遠望



ちゅうすけみちのひ
忠助道之碑 左(表)



どうまじん
道祖神



大川(屋代せぎ)にかかる大橋



忠助道は大正時代につくられたのね。

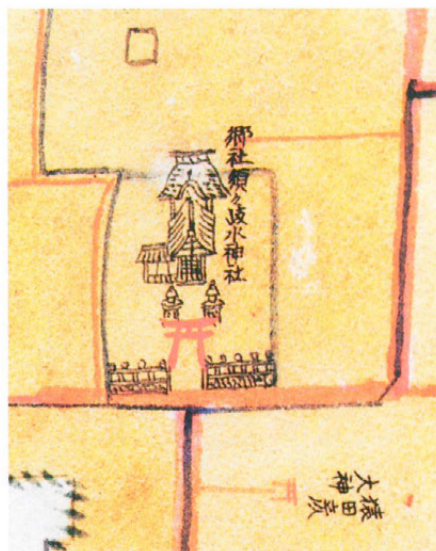
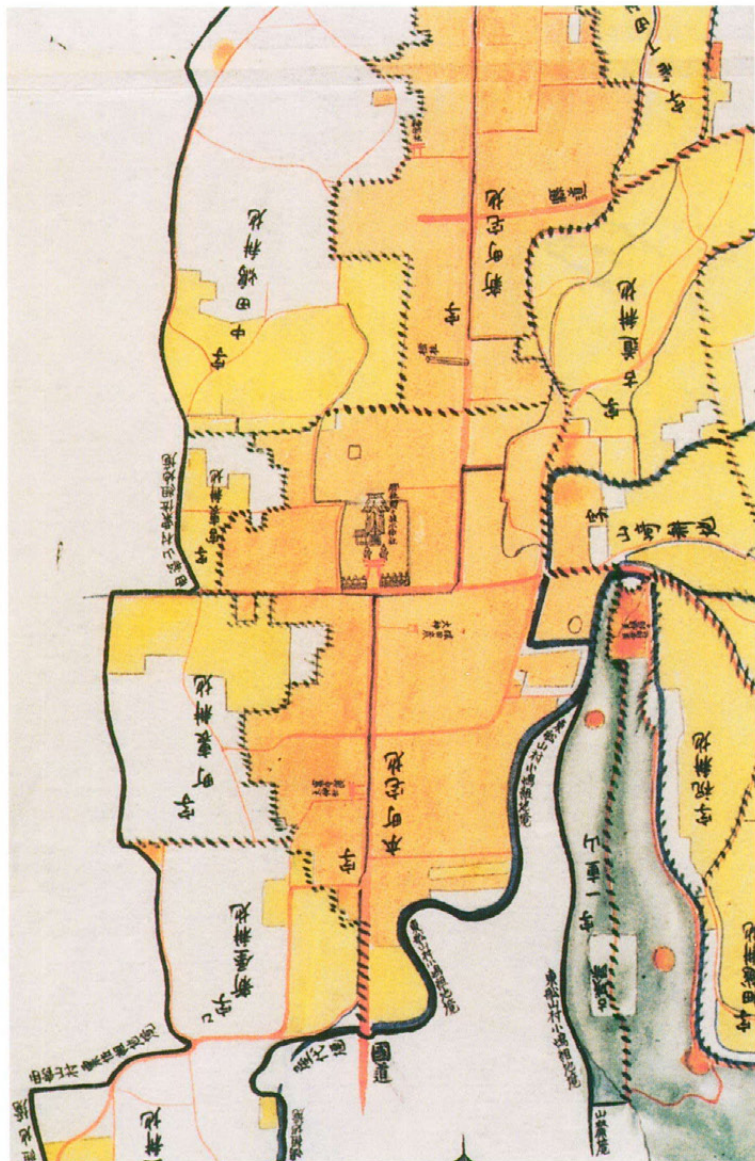
仁さんと杏さんの調査地図(調査の書き込み有り)



須々岐水神社境内で落ち葉集めをしている人に聞きました。



仁さんと杏さんがつくった昔の学校周辺の絵地図



須々岐水神社付近の拡大

薄墨	墨引	叫色	青色	朱	白色	黄色
堤	境界	荒所山等+	水道	道筋	畑地	田池

地図の見方

約120年前につくられた絵図の学校周辺部分（長野県立歴史館蔵）



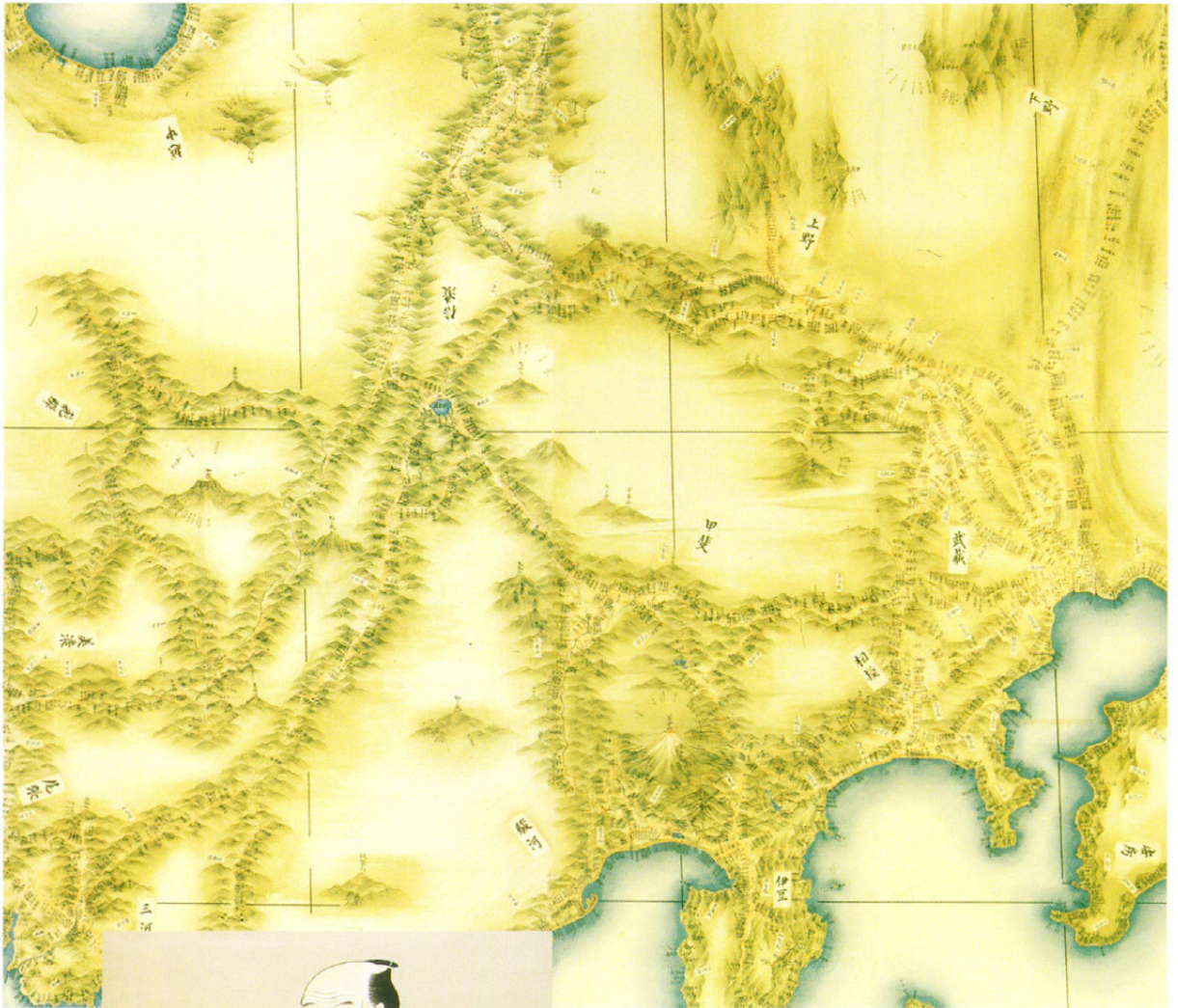
あとで歴史館に調べにいったら、こんな地図があったんだ。1877年（明治10）ごろの地図だと教えてもらったよ。この地図をもとに、学校の周りの昔を探すこともできるね。



お宮とか、とてもいいに描かれているわね。それと、わたしたちのつくった地図にないものも描いてあるわ。また、調べてみましょう。

（太田典孝）

伊能忠敬の地図

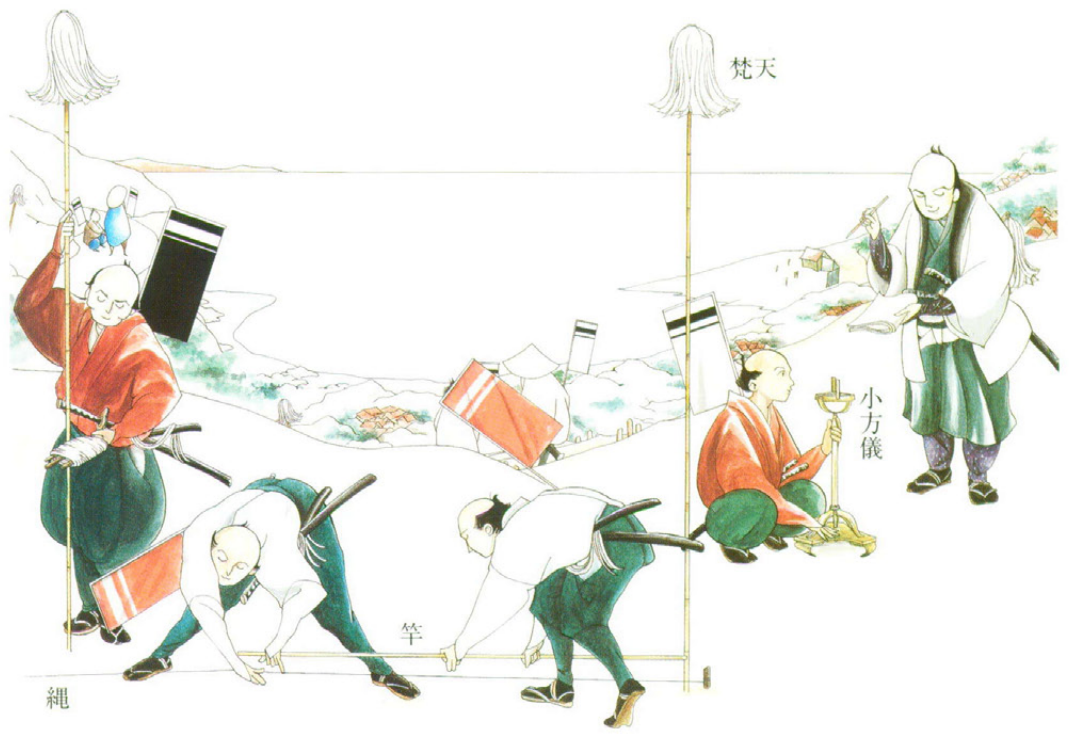


伊能忠敬肖像（伊能忠敬記念館蔵）

伊能図の信濃部分拡大（東京国立博物館）

1821年（文政4）に完成された「関東」と「中部」をあわせ、長野県部分を拡大したものです。現在の長野県地図と比べて見ると、一部描かれていない空白の所もありますが、それまでの絵図とはことなり、道・川・山等の距離や位置がとても正確で細かく、しかも美しく仕上げられています。

50歳で隠居した伊能忠敬は、江戸で天文学を学んだ後、北海道の正確な地図を作りました。このことが幕府に認められ、役人にとりたてられました。その後、71歳までに計10回をかけて全国各地を歩いて測量しました。その総距離は、地球一周分に当たる35,200キロメートルにもおよびました。もちろん、長野県にも4回測量に来ています。



測量の様子（明治大学刑事博物館蔵「地方測量之図」を参考）

① 距離を測る

- ・ 測量位置を決めて、目印になる梵天^{ほんてん}をまっすぐに立てる。
- ・ 梵天の間を、縄^{なわ}や竿^{さお}を使って測る。

② 方位を測る

- ・ 測量地点に小方儀^{しょうほうぎ}を地面に立て、切り込み線から方向を読みとる。

③ 高さを測る

- ・ 象限儀^{しょうげんぎ}で、傾きを読み取る。
- ・ さらに測量地点間の距離を縄で測る。
- ・ 高さや長さを計算で求める。

④ 位置を正しく直す

- ・ 同じ場所を何回か測り、それを平均化して誤差^{ごさ}を少なくする。
- ・ 天体観測^{てんたいかんそく}をして、位置を確定する。

測量器具^{せりこう}を精巧なものに改良し、天体観測^{てんたいかんそく}をしたりして、綿密^{めんみつ}な測量をおこなったことにより、正確な地図ができました。

（寺島正友）



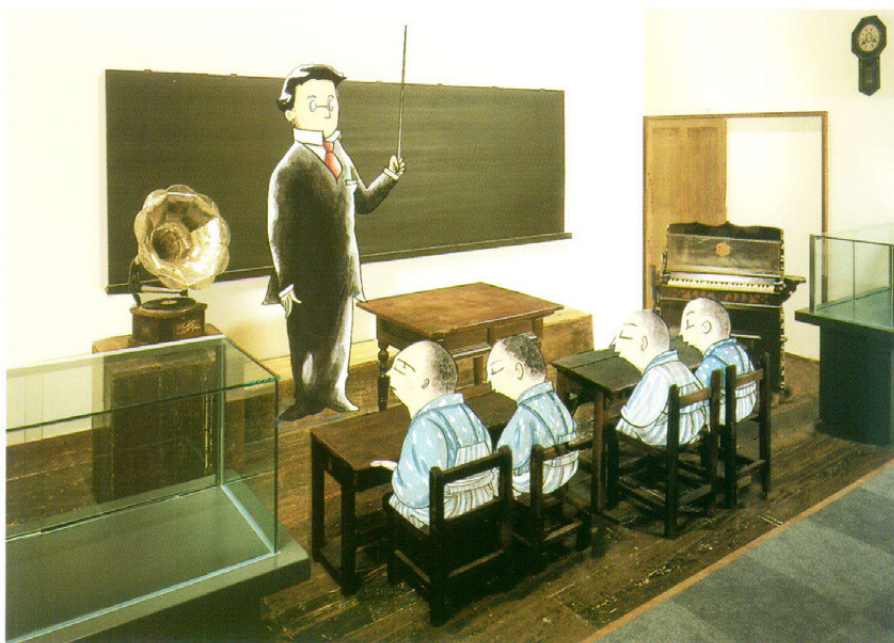
小方儀（御代田町 小林太郎氏蔵）



象限儀（真田宝物館蔵）



大正時代の教室に座ってみよう



大正時代の小学校の教室（長野県立歴史館常設展示室）

写真にイラストレーションを合成。

◆机に腰掛けてみよう

ここは歴史館常設展示室の大正時代の教室です。現在勉強している教室のようすと比べてみると、いくつもの違いに気がつきますね。

まず机と椅子ですが、横に長く、二人が並んで座るようになっていています。男子と女子が仲良く並んで腰掛けたのでしょうか？ いいえ、違います。この時代には男女は別々の教室で学ぶことが多かったのです。男女共学が普通になったのは戦後のことです。

机の上にあるものは、カンペンケースのように見えますが、実は弁当箱です。曲げわっぱや柳行李やなぎごうりに代わって、アルミニウムのこうした弁当箱まが使われるようになったのは、明治の終わり頃からのことです。



アルマイトの弁当箱（長野県立歴史館蔵）

明治の終わり頃になってアルミニウムの弁当が使われるようになるが、腐食しやすかったため表面が加工された。これがアルマイトの弁当箱である。



給食の様子1959年（昭和34）（長野県立歴史館蔵）

戦前にも栄養不良対策として給食が行われたことがあったが、教育の一環として学校給食が実施されたのは戦後のことである。



明治末から大正の頃の授業風景（長野県立歴史館蔵）

◆教室を眺めてみると

さて、今度は教室の中を見回してみましょ。黒板の色が違いますね。この時代にはまさに「黒い板」だったのです。緑色の黒板が使われるようになるのは1964年（昭和39）からです。

教卓の上にあるのは振鈴しんれいといって授業の開始を告げるための鈴すずです。どんな音がするのか鳴らしてみてください。

黒板の下にある床よりもちょっと高い段は教壇です。昔の先生はこのように高い位置に立って生徒に教えました。教壇は今の小学校の教室には見あたりませんが、「教壇に立つ」（教師になるという意味）という言葉は今でも使われています。

入り口を見ると、少しだけ開けた引き戸の上に、黒板消しがはさんであります。昔の子どもたちもこのようないたずらをしたのですね。



振鈴（長野県立歴史館蔵）



大正時代の教室入り口のいたずら（長野県立歴史館常設展示）



さまざまな教科書（長野県立歴史館蔵）
大正から昭和の始めに使われた教科書。



石盤（長野県立歴史館蔵）

石盤を日本で初めて製造・販売したのは長野県の人だと言われる。1874年（明治7）に高遠町村（現高遠町）の内田定四郎が製造・販売したという記録が残っている。

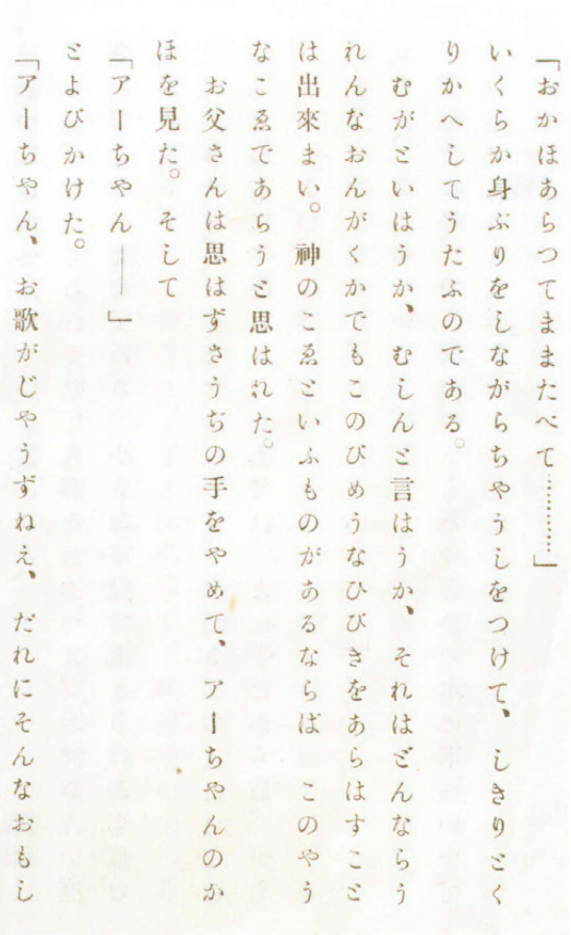
◆大正時代の教科書

棚の中には教科書が何冊か入っています。手に取ってみましょう。大正時代に使われた小学校の国語読本です。漢字・かなの文字やかな遣い^{づか}が今とは違いますね。

◆石盤とノート

机の上の小さな額のような黒い板は石盤^{せきばん}です。粘板岩^{ねんばんがん}などの薄い板をノートくらいの大きさに切り、縁が欠けないように木枠を付けました。小さな黒板と考えればいいでしょう。明治時代の子どもたちはこの上に石筆^{せきひつ}（蠟石^{ろうせき}）で文字を書き記しました。

石盤は重く、割れやすく、一度書いてもまた消さなければならない不便がありました。また、消した時に出る蠟石の粉を吸い込むことは健康上問題がありました。そうしたことを考慮して、明治の終わり頃から鉛筆やノートが使われるようになっていきました。



児童の読本（長野県立歴史館蔵）
読み物の教科書の一部。文字やかな遣い^{づか}の違いを見つけてみよう。



オルガン（長野県立歴史館蔵）
20世紀初めのオルガン。燭台がついている。



花形ラッパ蓄音機（長野県立歴史館蔵）
大正時代につくられたゼンマイ式の蓄音機。

◆蓄音機とオルガン

大正時代にも音楽の授業がありましたが、当時は唱歌と呼ばれていました。

机の上にあるのは蓄音機ちくおんきといって、これにレコードをかけて音楽を聴きました。蓄音機はともかく、レコードはまだ皆さんの家にもあるかも知れません。

教室の右手にはオルガンがあります。近づくと懐かしい音色が聞こえてきましたね。オルガンが日本で最初に作られたのは明治時代中頃のことです。輸入オルガン修理の延長として、また、高価だったピアノの代用として作られました。電気のオルガンではないので、足踏みをしながら弾いてみてください。優しく懐かしい音がします。

ちなみに、流れてくるオルガンの曲は「春の小川」、もみじ「紅葉」、ふるさと「故郷」という唱歌です。日本人なら誰でも知っている有名な曲ですが、いずれも長野県出身の高野辰之たかのたつゆきの作詞（曲は鳥取県出身の岡野貞一おかのていいち）によるものです。

（中條昭雄）



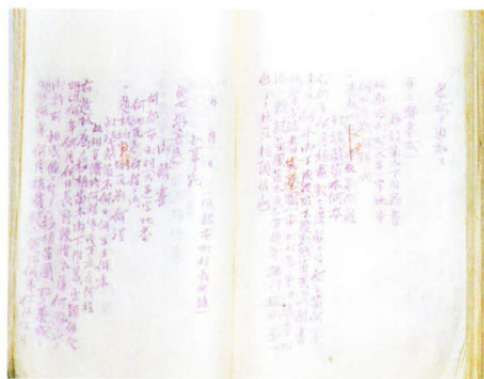
レコード（長野県立歴史館蔵）
蓄音機の針がレコードの溝をこする振動を音に変えた。



高野辰之（高野辰之記念館提供）
歌謡演劇史の研究者。長野県野下内郡豊田村の出身で、東京音楽学校（現東京芸術大学）教授などを務めた。「故郷」は長野オリンピックの閉会式でも歌われた。



簡単コピー こんにゃく版をやってみよう



長野県立歴史館行政文書中にあるこんにゃく版印刷

材料

(印刷基盤) 1枚あたり
食用こんにゃく (白色の市販寒天でもできます。)

(インク)
メチルバイオレット (青紫)
塩基性フクシン (赤紫)
エチルアルコール
アラビアゴムを水でといたもの
(以上の材料は理科実験器具を扱う会社にあります。)

(原版紙)
厚口ケント紙
(写しとる紙)
表面の滑らかな上質紙
(和紙でも可)

(その他)
筆 または ペン (筆記具)
ガラスの容器 (ビーカー)
スポンジ
ペーパータオル

◆こんにゃく版とは何だろう。

平版印刷の方法の一つで、1880年(明治13)ごろヨーロッパで開発されたゼラチンを使った印刷法「コロモグラフ」が始まりといわれています。数年後には「寒天版」という名前で日本に導入され、その後「こんにゃく」を使った日本独自の方法が考案され、広がりました。安く印刷でき、大きな印刷物もできるので、たくさん刷る公文書から、商店のポスターまで幅広く利用されました。明治後半になると騰写版(とうしゃばん)(ガリ版)印刷が開発されて、こんにゃく版の印刷はおこなわれなくなりました。

◆こんにゃく版をやってみよう。

1.印刷基盤をつくろう。

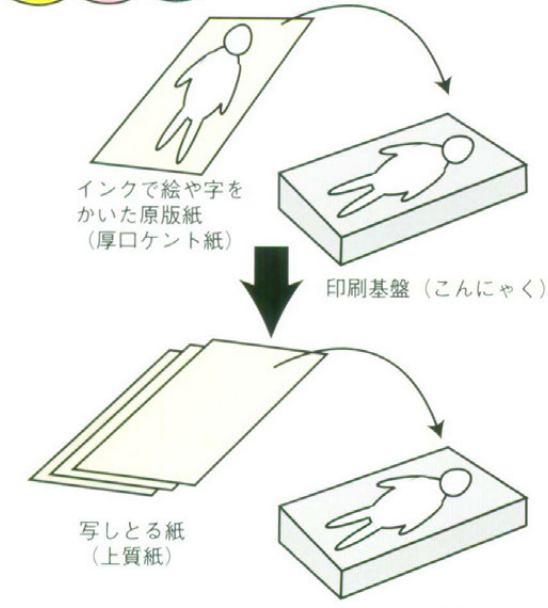
市販の食用こんにゃく(寒天)を1.5~2cmほどに薄く平らに切り、表面(版面)の水分をペーパータオルでふき取ります。

2.インクをつくろう。

ガラスの容器にインクの粉末原料を入れ、エチルアルコールとアラビアゴム水(水70ccにゴム5g)を加え溶かします。メチルバイオレット10gを、水70cc、アルコール20ccで溶かすのが目安です。

***インクがつくと、なかなか落ちませんので注意しましょう。ついたら、ア**

イ イン ク こんにゃく版のしくみ



ルコールでふき、絶対口にいけないで下さい。

3. 原版紙をつくろう。

筆またはペンにつくったインクをつけ、厚口ケント紙に写しとりたい絵や文字を描きます。描いた絵や文字は、水に濡れるとインクが流れてしまうので、かわくまで注意しましょう。

4. 印写面をつくろう。

原版紙を表面がかわいたこんにゃく(寒天)にあてて、およそ10秒間指でこすります。端から段々と原版紙をはぎ取ります。この印写面をていねいにつくると、印刷がうまくいきます。直接こんにゃくに絵や字を書くと、印刷のとき反転してしまいますので、注意しましょう。

5. 印刷してみよう。

印写面に写しとる紙をあてて、上から2秒ほど軽くこすり、印刷をします。印写面に水分が多いと、写しとる紙が変形しますので注意しましょう。印刷をくり返すと、だんだん薄くなります。

6. でき上がり。

十数枚印刷できます。文字が薄くなったら、スポンジなどで写しとる紙を湿らせてから、印刷してみましよう。

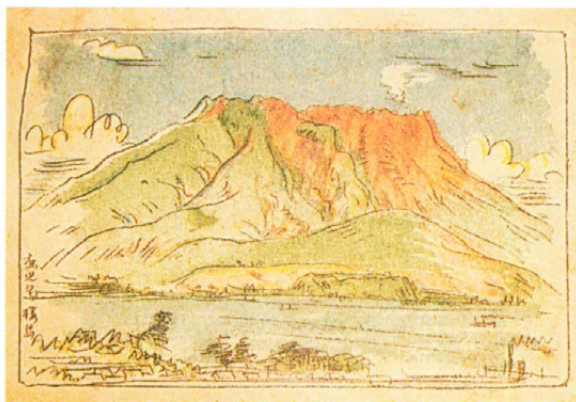
*印刷基盤は食品ですが、印刷の染料として食品に適さない薬品を使用しますので、口や目に入れないよう注意してください。

(田玉徳明)

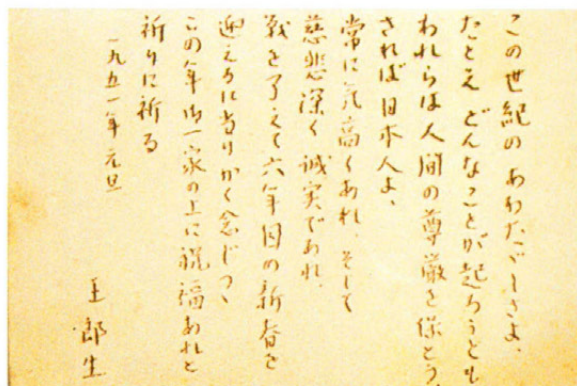




ガリ版に挑戦してみよう



ガリ版の印刷物（長野県立歴史館蔵）
ガリ版を使って多色刷りの作品も作られた。



◆ガリ版て何？

ガリ版とは、どうしゃばんいんさつ 謄写版印刷のことをいいます。かつてよく使われた年賀状など葉書を印刷する家庭用の印刷機と原理は同じです。原紙に孔（あな）をあけて、そこからインクが出て印刷される仕組み（こうはんいんさつ 孔版印刷）です。ただし鉄筆でろうをぬった原紙に直接書いていかななくてはなりません。書いていくときの音がガリガリとするので、ガリ版とよばれています。

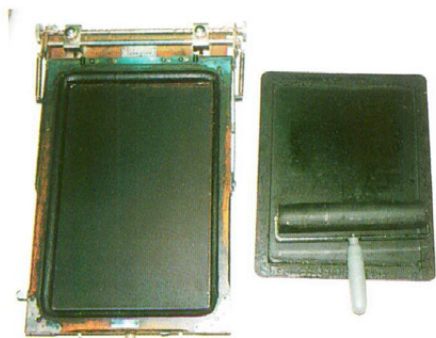


やすり、鉄筆、ろう原紙
鉄筆には、字を書くもののほかに塗りつぶしや点線を引くものなどさまざまあった。

1894年（明治27）堀井新治郎らによって日本で最初の謄写版印刷機が発売されました。はじめ役場などで使われ、学校でもさかんに使われました。現在はコピー機が普及していますが、かつては学校や会社ではガリ版印刷が中心でした。大量に印刷するためにろう原紙用のりんてんき 輪転機も使われました。

◆ガリ版印刷に必要なものは？

やすり、ろう原紙、鉄筆、謄写版印刷機、インク、ローラーなどです。



謄写版印刷機、ローラー

◆いよいよ挑戦

やすりは縦の目（方）と斜めの目（斜）があります。目のあらしも何種類かあって、あらい順にA、B、Cで表していました。あらくて縦の目のやすりは、方Aといいます。書く字の癖や大きさなどで選びました。

やすりの上に原紙をのせて、鉄筆で書いていきます。ガリガリと音がするように適度に力を入れます。鉄筆は先がとがっているので気をつけましょう。

あとは謄写版印刷機で印刷します。

◆やってみたいときは？

- ①まずは学校にないか聞いてみましょう。学校の先生が以前に使った用具を持っている場合があります。
- ②原紙や器具は、文具店や古書店ぶんぐてん こしょてんであついているところがあります。
- ③インターネットで「ガリ版」「謄写版」で検索してみましょけんさくう。資料館や文具店の情報がみつかります。
- ④やすりは紙やすりで代用するなど材料を工夫してみましょくわう。

◆もっとくわしく知りたいときは？

じゅうようぶんかざいしゅうかいちがっこう
重要文化財旧開智学校には、謄写版印刷の資料があります。

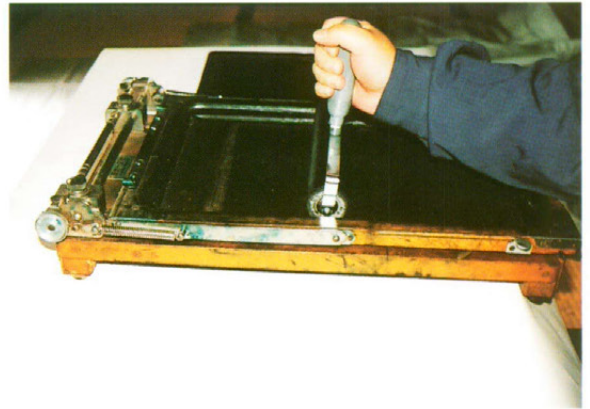
〒390-0876 長野県松本市開智2-4-12

TEL0263-32-5725

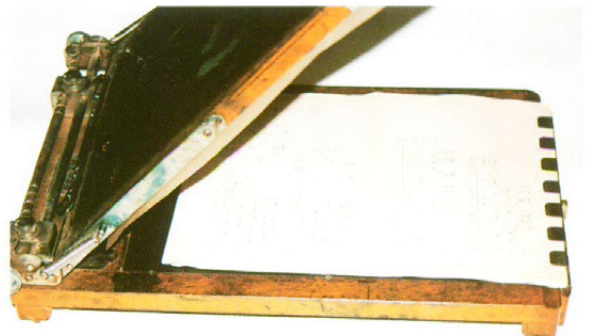
(市川包雄)



原紙に鉄筆で絵や字を書く。



謄写版印刷機に原紙をはる。



ローラーでインクをつけて1枚1枚印刷してできあがり。



カメラのなかをのぞいてみよう



カメラの組み立て（長野県立歴史館蔵、長野県政史資料）
1960年ころ諏訪地方を中心にカメラなど精密機器の製造がさかんだった。



20世紀後半のカメラ（長野県立歴史館蔵）
諏訪地方でつくられたカメラ。

◆長野県のカメラ生産

諏訪地方は「東洋のスイス」とよばれ、精密機械工業がさかんです。時計、カメラ、オルゴールなどが生産され、世界各国に輸出されました。

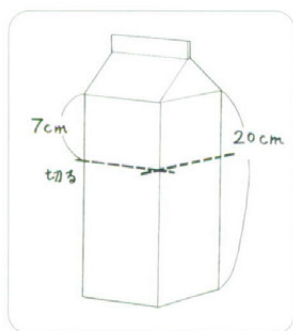
カメラは1558年イタリアのバチスタが発明したカメラオブスキュラが発達したものです。小さな穴をとおして反対側に像が写る仕組みです。その後レンズをつけたり、フィルムに焼きつけたりできるようになって、現在のようなカメラになりました。

写真を撮るだけでなく、像を写すものを一般にカメラといいます。

◆ピンホールカメラに挑戦

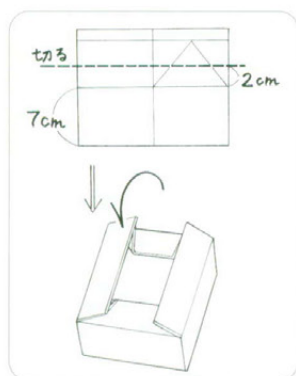
○用意するもの

- ・ 1ℓの紙パック
- ・ 黒い画用紙
- ・ トレーシングペーパー
- ・ はさみまたはカッター
- ・ セロハンテープ
- ・ ものさし
- ・ 針

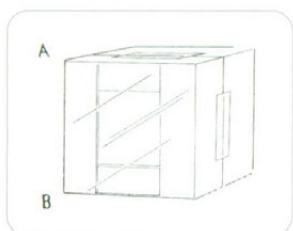


作り方

①分ける
紙パックの注ぎ口の下から7cmで切り、上下に分ける。



②箱形にする
上部の注ぎ口を開き、のりがついていた部分を切り取る。注ぎ口だった部分は折りたたみ、テープで固定する。



③トレーシングペーパーをはる
②の穴をおおうようにしてトレーシングペーパーをはる。ピンと伸ばすのがコツ。

◆気をつけよう！

はさみやカッターを使うときは手を切らないように気をつけよう。

***カメラで太陽を直接見てはいけません。**

◆写真を撮るには

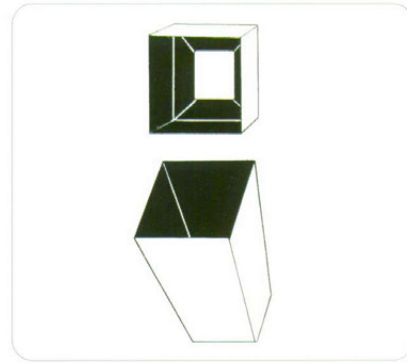
トレーシングペーパーの代わりにフィルム（印画紙）をはり、後ろから板で押さえます。このときに、光をあてないように暗い場所でやりましょう。あらかじめトレーシングペーパーで像がきちんと見える場所にあわせ、フィルムをおくのがポイントです。

百科事典などには簡単なカメラのつくり方が出ています。

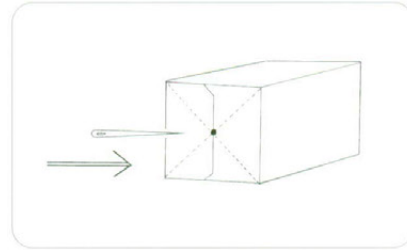
◆日光写真

昔の遊びのなかに日光写真というのがありました。これはカメラの仕組みを利用せず、印画紙を感光させて絵を写すものでした。雑誌に付録になることもあり、人気のあるおもちゃでした。

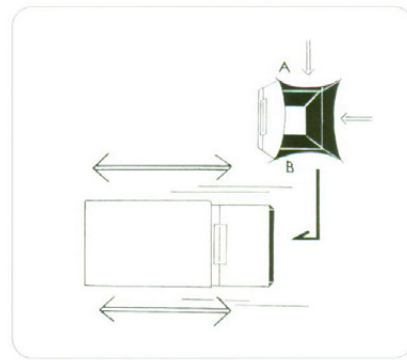
(田村栄作)



④内側を黒くする
黒い画用紙を紙バックの内側に合わせて切り、紙バックの上下両方の内側にはる。



⑤穴をあける
紙バックの下部の底に針で小さな穴（0.2～0.4くらい）をあける。



⑥上と下を合わせる

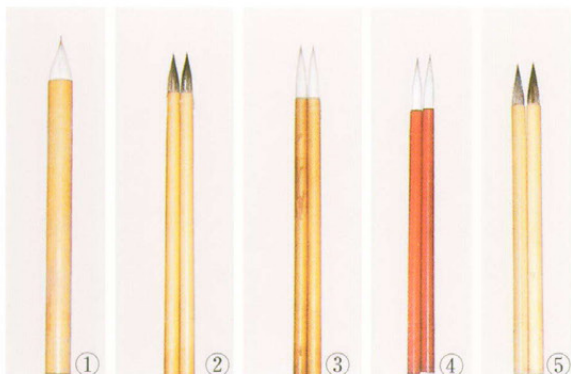
⑤に③をトレーシングペーパーをはった方から入れる。

⑦像の調整
穴を明るい方向に向け、トレーシングペーパーをはった部分を前後に動かす。像がはっきり見えたところで完成。



日光写真（台東区立下町風俗資料館蔵）
絵を描いた透明シートを印画紙の上に置き、日光をあて感光させる。白黒が反転する。上記の館で購入可能。

筆記用具のあゆみ



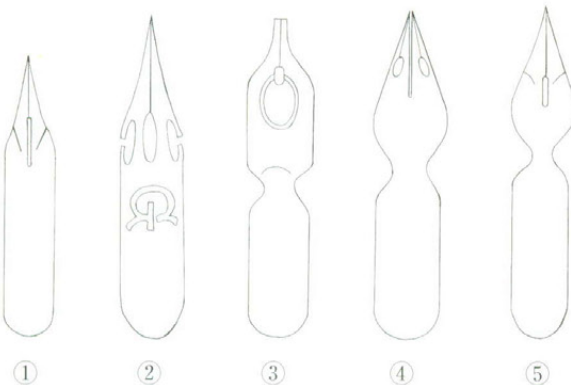
筆の変遷例（複製＝日本文具資料館蔵）

①天平時代 ②平安時代 ③鎌倉時代 ④室町時代 ⑤江戸時代



やたて たびにつき
矢立と旅日記（長野県立歴史館蔵）

江戸時代の旅行のときに使った携帯用の筆記用具と旅の日記である。矢立の細長い柄の部分には筆を納める。先の太い部分は墨壺で中に綿と墨が詰められ、水を注いで使用した。



ペン先のいろいろ

①スクールペン ②Gペン ③楽譜ペン ④鉄道ペン ⑤銀行ペン



もっかん はんめんりょう
木簡と円面硯（長野県立歴史館蔵）

木簡は紙のかわりに使われた。字を消すときは刀子（小刀）で削った。円面硯は奈良時代の役人が書類などを書くときに硯として使ったもの。この上に水を注いで墨をすった。

◆ふて すみ 筆と墨

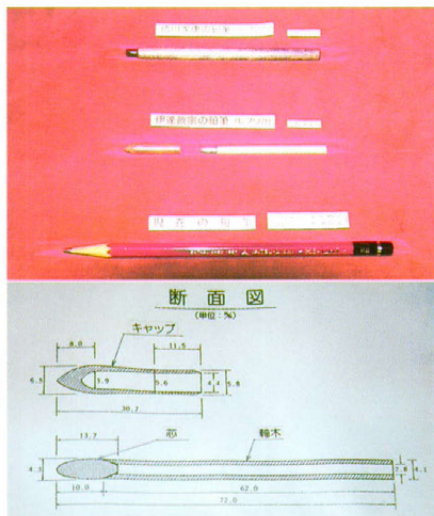
筆に墨をつけて書く、という方法は歴史が古く、中国から朝鮮を経て日本に伝わりました。紙のつくり方は、610年に日本に入ってきましたが、高価なので、特別の場合をのぞいて、木簡という小さな板に書かれていました。

紙が一般にもさかんに使えるようになったのは、江戸時代からです。

◆ペンと万年筆

明治時代になると、ペン先が金属でできたペンが輸入されました。日本では、じきにまねをしてつくり、いろいろな用途によって何種類ものペン先がつくられ、現在では数百種類あるといわれます。

1882年に携帯用のペンとして万年筆がアメリカで発明され、その2年後には日本に輸入されました。



徳川家康と伊達政宗の鉛筆（江戸時代初期レプリカ 日本文具博物館蔵）

上の写真 1974年（昭和49）に伊達政宗の墓所から発見されたものの中に鉛筆があった。徳川家康の鉛筆は久能山東照宮に保管されている。いずれも、同じ頃の日本最古の鉛筆である。

下の写真 伊達政宗の鉛筆の断面図

◆鉛筆の歴史

今残っている日本最古の鉛筆は、徳川家康と伊達政宗のもので、これらは16世紀にイギリスで鉛筆が発明されてから70年ほどで輸入されたもので、現在世界的にも大変貴重なものとして注目されています。

けれども、日本人はあまり鉛筆には関心がなく、明治時代になって、学校で使われるようになるまで、ほとんど広まりませんでした。

◆シャープペンシルの歴史

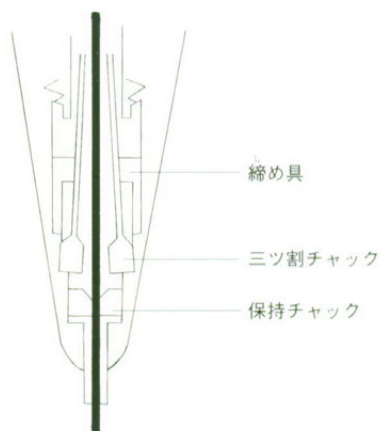
シャープペンシルはイギリスで19世紀に発明され、1877年に初めて日本に輸入されましたが、一般の人に広まったのは1915年（大正4）に早川金属（現在のシャープ株式会社）が国産を始めてからのことです。

（本多得爾）



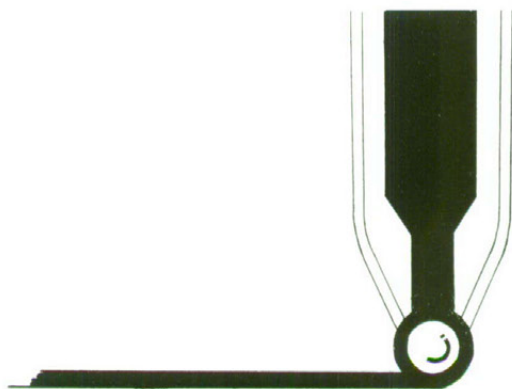
現代の鉛筆

鉛筆の芯は黒鉛と粘土を焼き固めてつくる。H・HB・B・Fなどの硬さと濃さをあらわす表示がついているが、Hは英語のハード（硬い）をあらわし、Bは同じくブラック（黒い）、Fは同じくファーム（しっかりした）をあらわす。FはHとHBの中間の硬さである。



シャープペンシルの構造

1838年にアメリカで「エバーシャープ」と名づけられ、シャープペンシルの名前はここから起きている。



ボールペンの構造

ボールペンは、1943年にハンガリー人のピロによって発明された。ペンの先に小さな金属製のボールがあって、紙に字を書くと、そのボールが回転して、ペン軸の中のインクが紙に転写される。日本へは1945年にアメリカから伝わった。

参考文献

- 佐原真「縄文施文法入門」『縄文土器大成 3 後期』（講談社、1981年）
- 佐原真・春成秀爾『歴史発掘⑤原始絵画』（講談社、1997年）
- 服部敬史『考古学シリーズ②発掘と整理の知識』（東京美術、1985年）
- 『上信越自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書 4～6 長野市内その 2～4 松原遺跡 縄文時代、弥生・総論 1～6、古代・中世』（長野県埋蔵文化財センター、1998～2000年）
- 若杉準治編『絵巻物の鑑賞基礎知識』（至文堂、1995年）
- 佐藤進一『増補 花押を読む』（平凡社、2000年）
- 『花押と印影』（防衛研究所図書館史料室、2002年）
- 生島足嶋神社・東信史学会・塩田文化財研究所編『信玄武将の起請文』（信毎書籍出版センター、1988年）
- 『豊野町の資料 一』（豊野町教育委員会、2001年）
- 長野県立歴史館1995年秋季企画展図録『信濃における戦国争乱の世界』
- 『長野県史通史編』第五卷（長野県、1988年）
- 『伊能図』（武揚堂、2002年）
- 『伊能図に学ぶ』（朝倉書店、1998年）
- 『忠敬と伊能図』（アワ・プランニング、1998年）
- 内閣制度百年史編纂委員会編『内閣百年の歩み』（内閣官房、1985年）
- 『なんでも実験ためして発見 8 光のきらめきをつかまえよう』（フレーベル館、1999年）
- 『ベスト図解百科 2』（学研、1991年）
- 記録史料の保存を考える会研究集会資料『こんにゃく版をつくろう』

協力者のみなさん

(五十音順、敬称略)

青井黑板製作所	塩尻市立平出博物館
青森県埋蔵文化財調査センター	下河辺元春
飯田市教育委員会	重要文化財旧開智学校
飯山市教育委員会	清浄光寺・歓喜光寺
生島足嶋神社	諏訪市博物館
井戸尻考古館	清蘭堂
伊那市教育委員会	台東区立下町風俗資料館
伊能忠敬記念館	高野辰之記念館
上杉邦憲	辰野美術館
上田市立博物館	中條晋
梅原康嗣	東京国立博物館
(株) エービープロモーション	東京大学史料編纂所
大倉集古館	豊野町教育委員会
大桑村教育委員会	内閣官房内閣広報室
開善寺	奈良県立橿原考古学研究所附属博物館
柿崎敬	贅田明
唐木勝芳	西本願寺
宮内庁三の丸尚蔵館	日本文具資料館
航空写真の千曲カラー	福田康夫
更埴市立東小学校	防衛庁防衛研究所図書館資料室
神戸市立博物館	本間美術館
國學院大學	松沢まや
国立公文書館	松沢もなみ
越助一	南茅部町教育委員会
小林純子	村山信子
小林太郎	村山義治
真田宝物館	若林茂里生

あとがき

長野県立歴史館では、毎年1冊ずつ、テーマをきめてブックレットを発行しています。9冊目のこの本は、今までの読むためのブックレットとは違って、利用するためのブックレットにしました。歴史館に来るときや、昔の人の生活を体験したり調べたりするときに、このブックレットを使ってみてください。

この本を参考にして、歴史をもっと深く勉強してみたいというみなさんは、ぜひ歴史館へ来てください。歴史館ではこの本に載っている復原展示や多くの歴史の本などを公開しています。また、専門の職員がみなさんの質問にもお答えします。

最後に本書のために、貴重な写真や資料などを快くご提供くださった多くの方がたにお礼申し上げます。

2003年3月

長野県立歴史館

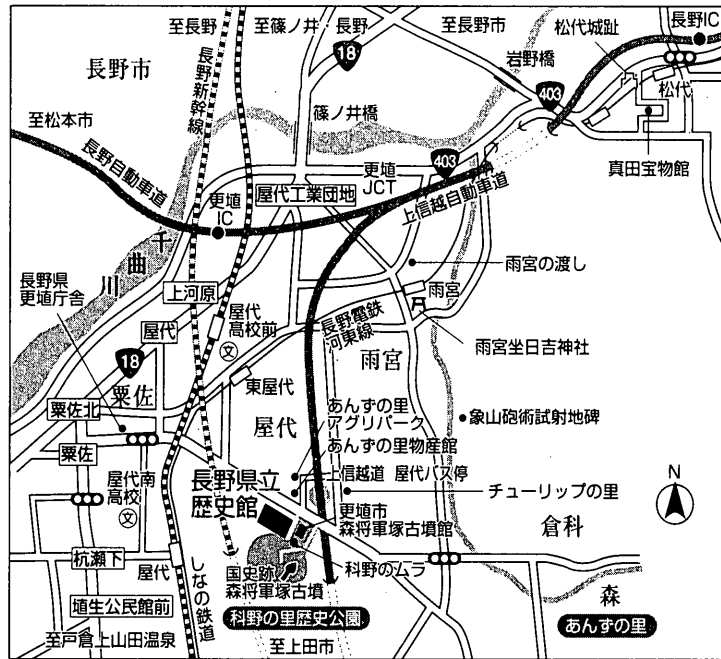
編集代表

柵津宗伸 岡村秀雄

執筆者

市川包雄 伊藤羊子 太田典孝 岡村秀雄 郷道哲章
田玉徳明 田村栄作 寺島正友 中條昭雄 柵津宗伸
本多得爾 村石正行 山崎哲人 綿田弘実

イラストレーション／西沢有紀



利用案内

(開館時間)

午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

(休館日)

月曜日（祝日・振替休日にあたるときは火曜日）
 祝日の翌日（日曜日にあたるときは開館）
 燻蒸等館長が定める日
 12月28日～1月3日

(常設展観覧料)

	一般	高校・大学生	小・中学生
個人	300円	150円	70円
団体	200円	100円	50円

（団体20名以上）

学校の教育活動として観覧する長野県内の小・中・高校生および障害者手帳をお持ちの方と介護者の方は減免になります。

2003年4月より土曜日、日曜日の小・中学生・高校生は無料です。

(交通案内)

長野新幹線上田駅で乗り換え、しなの鉄道屋代駅から徒歩25分、
 屋代高校前駅から徒歩25分
 長野電鉄河東線東屋代駅から徒歩20分
 長野自動車道・上信越自動車道更埴ICから車5分
 高速道路バス停「上信越道 屋代」から徒歩3分

長野県立歴史館

信濃の風土と歴史⑨ 歴史と遊ぼう - みてみよう、やってみよう -

2003年（平成15）3月20日発行

編集・発行 長野県立歴史館

〒387-0007 長野県更埴市屋代字清水260-6

電話(代)026-274-2000

FAX 026-274-3996

URL <http://www.npmh.net>

印刷 信毎書籍印刷株式会社

